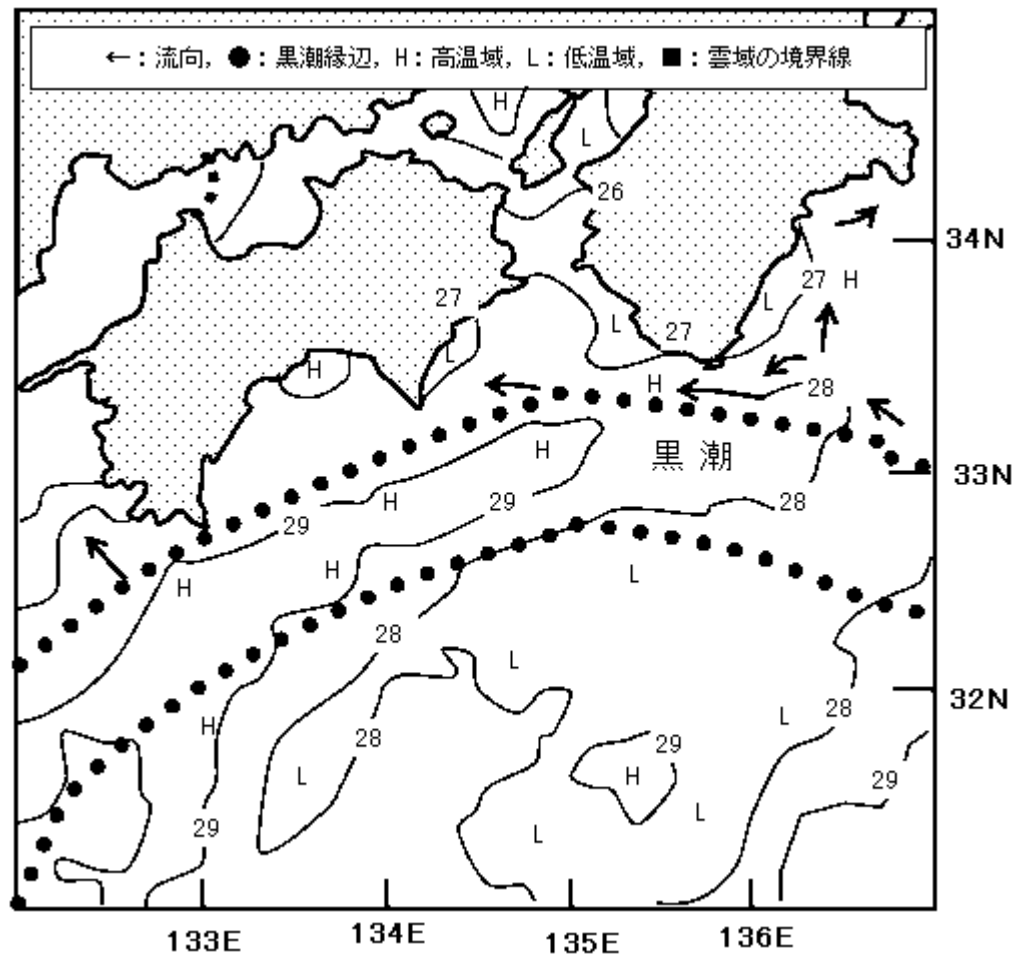


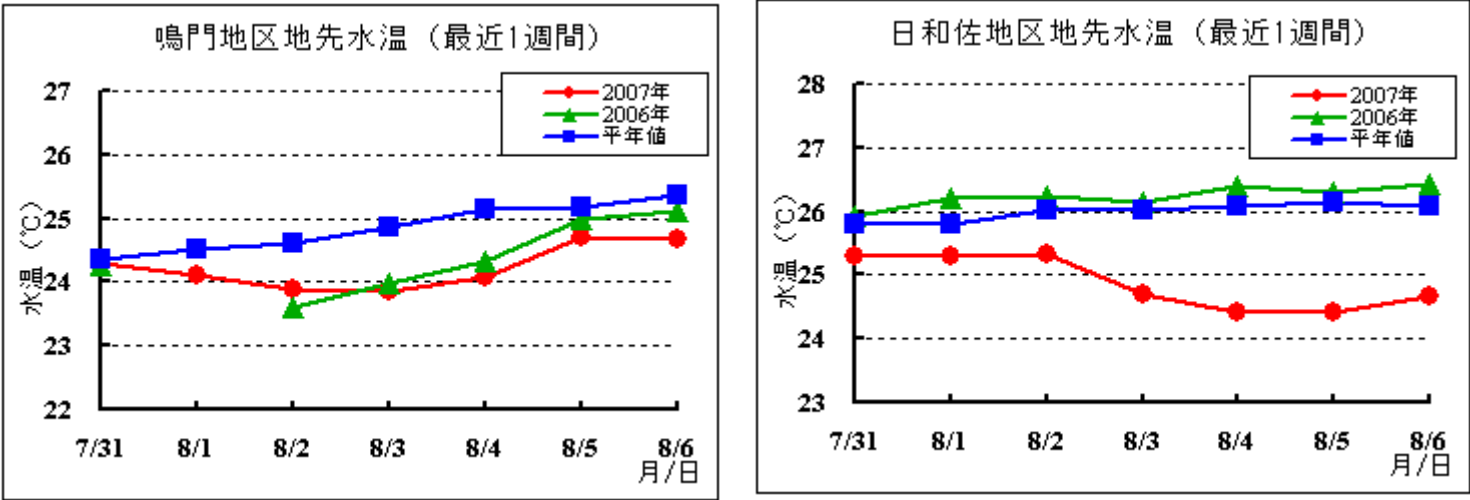
1. 海況の経過



上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.8.5～6)を示した。  
黒潮は室戸岬沖、潮岬沖ともやや離岸している。黒潮本流の表面水温は28～29℃台。  
表面水温は播磨灘が24～25℃台で、紀伊水道内部は25～26℃台で、外域は26～27℃台である。  
室戸岬沖～潮岬沖の黒潮がやや離岸しているため、紀伊水道外域に黒潮系水の流入はみられない。海部沿岸の下灘付近を26台の低水温域が覆っている。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の23.9～24.7℃で、日和佐地区が「低め」～「やや低め」の24.4～25.3℃で、牟岐地区は「かなり低め」～「高め」の22.9～27.0℃で推移した。台風5号が徳島県から遠ざかった8月3日以降、日和佐地区と牟岐地区の水温が低下した。



2. 漁況の経過

**小型定置網:**海 部沿岸で、マイワシが4.2トン(1日1隻あたり246kg)、ウルメイワシが3.3トン(同112kg)、小主体にマアジが2.3トン(同95kg)、カタクチイワシが0.2トン(同53kg)水揚げされた。徳島県沿岸部が台風5号の影響を受けるまで、マイワシにまとまった水揚げがみられたが、台風が遠ざかってから、水揚げがみられなくなった。

**釣り:**海部沿岸で、マルソウダが0.9トン(同7kg)、養殖用の活魚主体にヨコワが0.5トン(同3kg)、紀伊水道でタチウオが2.1トン(同40kg)水揚げされた。

**パッチ網:**紀伊水道で、シラスが57.8トン(同583kg)水揚げされた。

漁業種類	漁獲海域	魚 種	延べ出 漁隻数	漁獲量 (kg)	1日1隻当たり 漁獲量 (kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	マイワシ	17	4,176	246	
		ウルメイワシ	30	3,348	112	
		マアジ	24	2,287	95	小主体
		カタクチイワシ	4	211	53	
釣り	海部沿岸	マルソウダ	126	850	7	
		ヨコワ	158	481	3	活魚主体
	紀伊水道	タチウオ	52	2,065	40	
パッチ網		シラス	99	57,750	583	

その他県内漁模様(8/6 聞き取り)

**イボダイ:**播磨灘の小型底曳網で小型のぼうぜ(イボダイ)のまとまった水揚げ量がみられた。

週間予報:

室戸岬沖～潮岬沖の黒潮は、やや離岸で推移する見込み。  
地先水温は、鳴門地先で「やや低め」の24～25℃、日和佐地先で「やや低め」の25～26℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りでスルメイカが7.6トン(1日1隻あたり43kg)、イサキが3.6トン(同21kg)、タチウオが1.4トン(同8kg)水揚げされた。  
高知県芸東地域の大型定置網で、サバ類が2.2トン、マイワシが1.1トン、ウルメイカが47.1トン水揚げされた。

\*水温偏差の目安  
平年並み:±0.49 以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50 以上